

令和6年度「実施計画 兼 まちづくり達成状況報告書」（事務事業点検シート）

課等名： 高齢福祉課

シート No.： 18・27・30 作成日： 2025.5/2

① 総合計画上の位置付けと事務事業の背景・目的と目標

後期基本計画	施策の大綱	Ⅱ 保健・医療・福祉の充実	事務事業の背景・目的	事務事業の目標
	施策の目標	1 生涯にわたり市民の健康を守り、育む 3 誰もが生きがいを持てるまちづくりを進める	すべての「団塊の世代」(昭和 22 年から昭和 24 年生まれ) が 75 歳以上となる令和 7 年 (2025 年) を見据え、可能な限り住み慣れた地域で高齢者が自立した生活が送れるよう、その人の状態に応じて、医療、介護、予防、住まい及び生活支援サービスを切れ目なく提供する地域包括ケアシステムの段階的な構築に取り組んできました。 令和 25 年には 85 歳以上の人口比率が急増し、様々なニーズがある要介護高齢者が増加することが見込まれます。それと同時に、生産年齢人口の急減が顕著となり、高齢者を支える人材の不足が大きな課題として表れると考えられています。 今後の社会情勢の変化も敏感にとらえ、計画的に高齢者プランに掲げた事業を実施することで、着実に目標達成に近づけていきます。	地域共生社会の実現に向け、地域包括ケアシステムに基づき高齢者のケアを地域で包括的に確保・提供する体制の充実を図ります。 JOS0☆ハッピー体操、介護予防推進員など、独自の取り組みや認知症サポーターの育成を推進し、介護予防の充実を図ります。 医療・介護分野の地域内連携をさらに向上させるために、電子@連絡帳 JOS0 システム未導入の市内医療・介護関係事業所へシステム導入を促すことで利用者数の拡大を目指します。 シルバー人材センターやシルバークラブは、今後も高齢者の就業や生きがいづくりの場として必要であることから、シルバー人材センターの業務内容の拡大やシルバークラブの参加促進に向けた周知を行います。
	施策	1-2 医療 3-1 高齢者福祉		
	施策内容	1-2 医療・介護の連携 3-1 高齢者福祉の充実 3-1 生きがい・就労対策の充実		
	その他、根拠法令及び分野別計画等	常総市高齢者プラン (老人福祉計画・第 9 期介護保険事業計画)		
事務事業名		常総市高齢者プランの推進		

② アクティビティ（活動・事業）とアウトプット（結果）

③ インプット（投入）

アクティビティ（活動・事業）		アウトプット（結果）			R 6 予算額	R 6 決算額
活動名・事業名 （対象年）	R 6 活動・事業内容	指標（単位）	R 6 目標値	R 7 目標値		
			R 6 実績値	R 8 目標値		
高齢者向け情報 チラシの発行 （R6・7・8）	高齢者向け情報チラシを発行します。	チラシの発行回数 （回）	4	4	759 千円	713 千円
			4	4		
家族介護ヘルパー 受講費補助事業 （R6）	家族介護者が介護職員初任者研修を受講した際の、受講費用の一部を助成します。	助成人数（人）	2	0	30 千円	30 千円
			1	0		
高齢者日常生活用具 購入費助成事業 （R6・7・8）	一定の要件に当てはまる方に対して、火災警報器、自動消火器、電磁調理器、老人福祉車の購入費用の一部を助成します。	申請者数（人）	8	9	101 千円	38 千円
			5	10		
はり・きゅう・マッサ ージ施術費助成事業 （R6）	70 歳以上の方に対して、施術費用の一部を助成します。	助成人数（人）	400	0	1,696 千円	1,722 千円
			538	0		
理髪サービス事業 （R6・7・8）	介護認定の認定区分が要介護 3 から要介護 5 の方に対して、指定事業所が訪問理髪した際の費用の一部を助成します。	助成人数（人）	140	140	510 千円	390 千円
			130	140		
高齢者補聴器 購入費助成事業 （R6・7・8）	65 歳以上で両耳の聴力が中等度低下しており、耳鼻科の医師から補聴器の使用が有用と診断された方に対して、補聴器購入費用の一部を助成します。	助成人数（人）	30	30	900 千円	902 千円
			31	30		
敬老事業 （R6・7・8）	88 歳、100 歳、最高齢者に対し、長寿祝金等をお送りします。	贈呈者（88 歳到達者）（人）	350	350	2,130 千円	1,881 千円
			325	350		
シルバークラブ 活動補助事業 （R6・7・8）	シルバークラブ連絡協議会及び所属人数が一定以上のシルバークラブに補助金を交付します。	助成シルバークラブ数（クラブ）	30	30	735 千円	559 千円
			23	30		
シルバー人材センター 運営費補助事業 （R6・7・8）	高齢の方が、住み慣れた地域で就労できる環境を確保するため、シルバー人材センターの運営費の一部を補助します。	シルバー人材センター登録者数（人）	255	260	17,000 千円	17,000 千円
			226	265		
医療介護情報 共有支援事業 （R6・7・8）	通常時は医療・介護の専門職の連携ツールとして使用し、災害時は要援護者台帳として活用できる電子@連絡帳 JOS0 システムを運用しています。	ICT を利用した多職種間情報共有事例件数（件）	390	400	2,640 千円	2,640 千円
			556	410		

④ アウトカム（成果）

指標名	目標値	R 6 実績値
要支援・要介護者数（第 1 号被保険者のみ）	16.6% （R8）	15.8% （R7.1 月末）

⑤ 点検・改善

業務の振り返り	改善の余地			
各種高齢者福祉施策を推進することで、福祉の充実化を図りました。 シルバークラブの活動に対する助成を行うことで、要介護化予防を行うとともに、社会参加の機会を創設しております。 シルバー人材センターへの助成を行うことで、高齢者の就労機会の確保を行いました。 一般介護予防事業を展開し、要介護化予防と高齢者の社会参加の機会の創設を行っています。また地域のつどいの場の運営や自身の周囲の介護予防を推進するボランティアの養成と活動支援を行っています。	☐ コスト	☐ 活動	☐ 成果	☐ その他
	今後の方向性			
	限られた予算の中で、費用対効果が高い、自立支援につながる助成を行います。 一般介護予防事業を展開するとともに、新たな形の総合事業を展開することで、介護予防を行うための幅広い選択肢を提供します。 認知症サポーターの養成・認知症カフェの運営、認知症初期集中支援チームによる介入等を通して、認知症の方が住み慣れた地域で本人が望む生活を送るための環境整備に努めます。			

令和6年度「実施計画 兼 まちづくり達成状況報告書」（事務事業点検シート）

課等名： 高齢福祉課

シート No.：

作成日：

① 総合計画上の位置付けと事務事業の背景・目的と目標

後 期 基 本 計 画	施策の大綱		事務事業の背景・目的	事務事業の目標
	施策の目標			
	施策			
	施策内容			
	その他、根拠法令及び分野別計画等			
事務事業名				

② アクティビティ（活動・事業）とアウトプット（結果）

③ インプット（投入）

アクティビティ（活動・事業）		アウトプット（結果）			R 6 予算額	R 6 決算額
活動名・事業名 （対象年）	R 6 活動・事業内容	指標（単位）	R 6 目標値	R 7 目標値		
			R 6 実績値	R 8 目標値		
介護予防普及啓発事業 （いきいき教室等） （R6・7・8）	いきいき教室、いきいきパワーアップ教室、シルバーリハビリ体操教室、出前いきいき教室、JOSO いきいきマージャンを実施します。	一般介護予防教室に初めて参加した市民の人数（人）	30	30	1,997 千円	1,853 千円
			74	30		
地域介護予防活動支援事業 （R6・7・8）	介護予防推進員養成研修及び介護予防推進員現任研修を実施します。	介護予防推進員新規登録者数（人）	20	20	180 千円	170 千円
			33	20		
在宅医療・介護連携支援事業 （R6・7・8）	医療・介護関係者の情報共有の支援、知識の習得などのための研修などの地域の実情に応じた医療・介護関係者の支援をします。	医療・介護関係者向け研修等の実施回数（回）	1	1	3,600 千円	3,600 千円
			1	1		
認知症初期集中支援推進事業 （R6・7・8）	認知症相談事業や認知症初期集中支援チーム検討委員会の開催、認知症初期集中支援チーム活動を推進します。	認知機能チェック利用者数⇒初期集中支援チーム介入人数（人）	5	5	60 千円	0 千円
			1	5		
認知症地域支援・ケア向上事業 （R6・7・8）	認知症の人とその家族、地域住民、専門職等の誰もが参加することができ、又は集うことができる認知症カフェを活用した居場所づくりを推進します。	認知症カフェ定期開催ヶ所数（ヶ所）	2	2	188 千円	40 千円
			2	2		
認知症サポーター活動促進・地域づくり推進事業 （R6・7・8）	認知症について正しく理解し、認知症の方や家族を温かく見守り、支援する応援者として認知症サポーターの養成を行います。	認知症サポーター養成受講者数（人）	100	100	102 千円	39 千円
			81	100		
家族介護支援紙おむつ等支給事業扶助費 （R6・7・8）	要介護3、4、5で常時、紙おむつ等が必要と認められた在宅の高齢者に紙おむつ等の購入に要する経費の一部を助成します。	申請件数（件）	230	230	4,000 千円	3,891 千円
			218	230		
家族介護支援事業 （R6）	適切な介護知識や技術の習得等を内容とした教室を開催します。	実施回数（回）	10	0	260 千円	234 千円
			9	0		
					千円	千円
					千円	千円

④ アウトカム（成果）

指標名	目標値	R 6 実績値

⑤ 点検・改善

業務の振り返り	改善の余地			
	☐ コスト	☐ 活動	☐ 成果	☐ その他
	今後の方向性			